

2026 年 8 月 17 日

NTT ドコモビジネス株式会社
株式会社エクサウィザーズ

**NTT ドコモビジネスとエクサウィザーズ、
専用環境で利用できる「クローズド AI エージェント」の提供を開始
～企業の重要データを安全に活用できる AI 環境を提供～**

NTT ドコモビジネス株式会社(旧 NTT コミュニケーションズ株式会社、以下 NTT ドコモビジネス)と株式会社エクサウィザーズ(以下 エクサウィザーズ)は、専用環境で企業の重要データを安全に活用できる「クローズド AI エージェント」(以下、本環境)を共同開発し、2026 年 8 月 17 日より提供開始します。

1. 背景

近年、AI は自律的に判断し業務を実行する AI エージェントへと進化し、企業における活用領域も急速に拡大しています。AI エージェントが企業業務の中で実際に価値を発揮するためには、業務データや技術情報、契約情報、顧客情報など、企業活動で蓄積された重要データとの連携が不可欠です。一方で、重要データを扱う企業では、ガバナンスやセキュリティ上の要件から、AI 活用にあたって外部クラウドサービスの利用に慎重なケースも少なくありません。また、これらのデータを AI で活用するには、セキュリティリスクへの対応や、AI ガバナンスの強化が求められます。そのため、プライベートクラウドやオンプレミス環境で AI 活用を進めるケースもありますが、AI 基盤の構築・運用やセキュリティ対策を自社で担う必要があり、多くの企業にとって負担となっています。

NTT ドコモビジネスとエクサウィザーズは、こうした課題の解決に向け、エクサウィザーズの AI エージェント開発・運用プラットフォーム「exaBase Studio^{※1}」と、NTT ドコモビジネスが推進する AI 時代に最適な次世代 ICT プラットフォーム「AI-Centric ICT プラットフォーム^{®※2}」構想に基づく閉域ネットワーク、データセンター、GPU 基盤、インフラ運用の知見を組み合わせ、本環境を共同開発しました。本環境の提供により、企業の重要データを安全に活用しながら、AI を業務へ組み込める環境を実現します。

2. 本環境の概要と特長

本環境の概要と特長は以下のとおりです。

(1)お客さま専用のセキュアな実行環境

お客さま専用に構築された環境を閉域ネットワーク経由で利用でき、設計図面や技術文書、契約情報、顧客情報などの機微データを活用する AI エージェントを安全に利用できます。データを外部に

持ち出すことなく、専有 GPU と Kubernetes アーキテクチャ^{※3}の採用により、安定した処理性能と高いセキュリティを両立します。

(2) 業界・業務特化型 AI エージェントを実現する開発環境

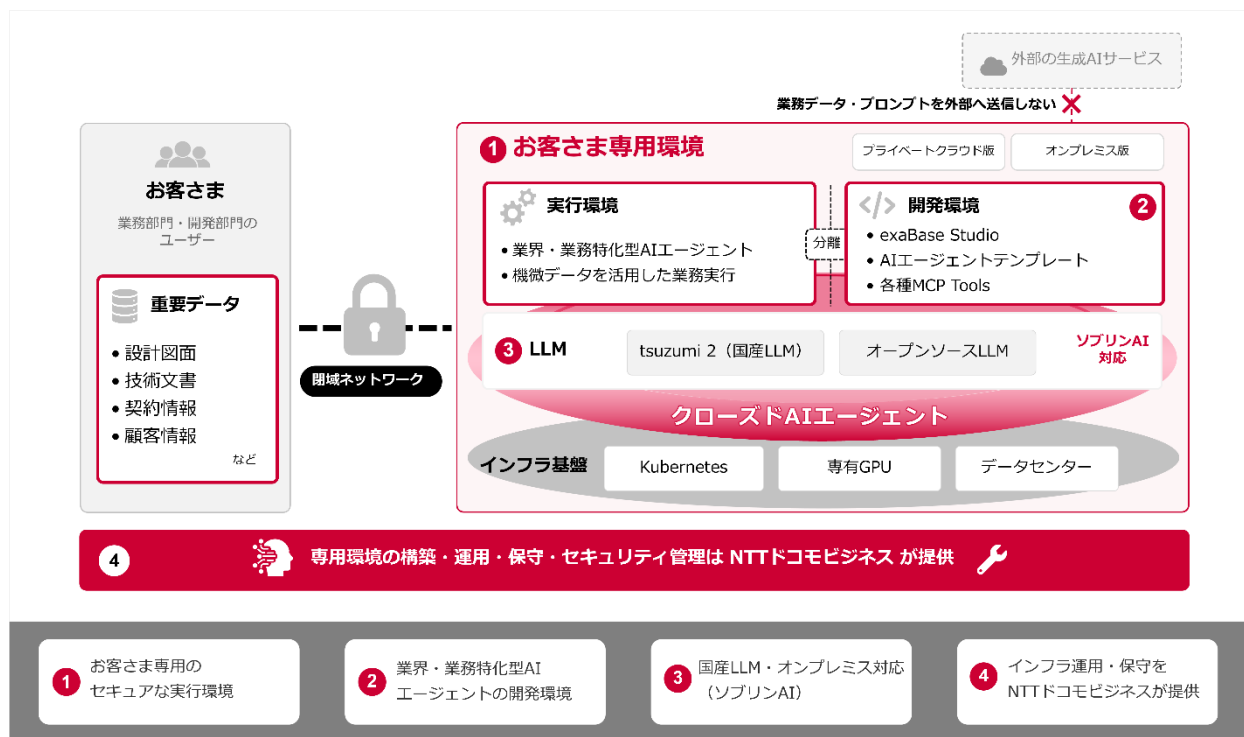
「exaBase Studio」が提供する AI エージェントテンプレートや、NTT ドコモビジネスが提供する業界・業務特化型 AI エージェント^{※4}を活用することで、業務プロセスに組み込める品質の AI エージェントを効率的に開発できます。

(3) 国産大規模言語モデル・オンプレミス対応によるソブリン AI^{※5} 対応環境

NTT 株式会社が開発した大規模言語モデル(以下 LLM)「tsuzumi 2^{※6}」やオープンソース LLM をお客さま専用環境で実行でき、業務データやプロンプトが外部の AI サービスへ送信されることはありません。さらに、オンプレミス版では、ハードウェアから LLM、AI エージェントまでを国内かつ自社環境内で完結して運用できるため、データや AI 基盤の主権を確保したソブリン AI 対応環境を提供します。

(4) インフラ運用・保守は NTT ドコモビジネスが提供

専用環境の構築から運用、保守、セキュリティ管理までを NTT ドコモビジネスが担うため、お客さまはクラウドや AI 基盤の運用体制を自社で構築することなく AI エージェントの導入・活用に専念できます。



3. 提供開始日

2026 年 8 月 17 日

4. 提供方法

NTT ドコモビジネスが、プライベートクラウド版およびオンプレミス版として提供します。

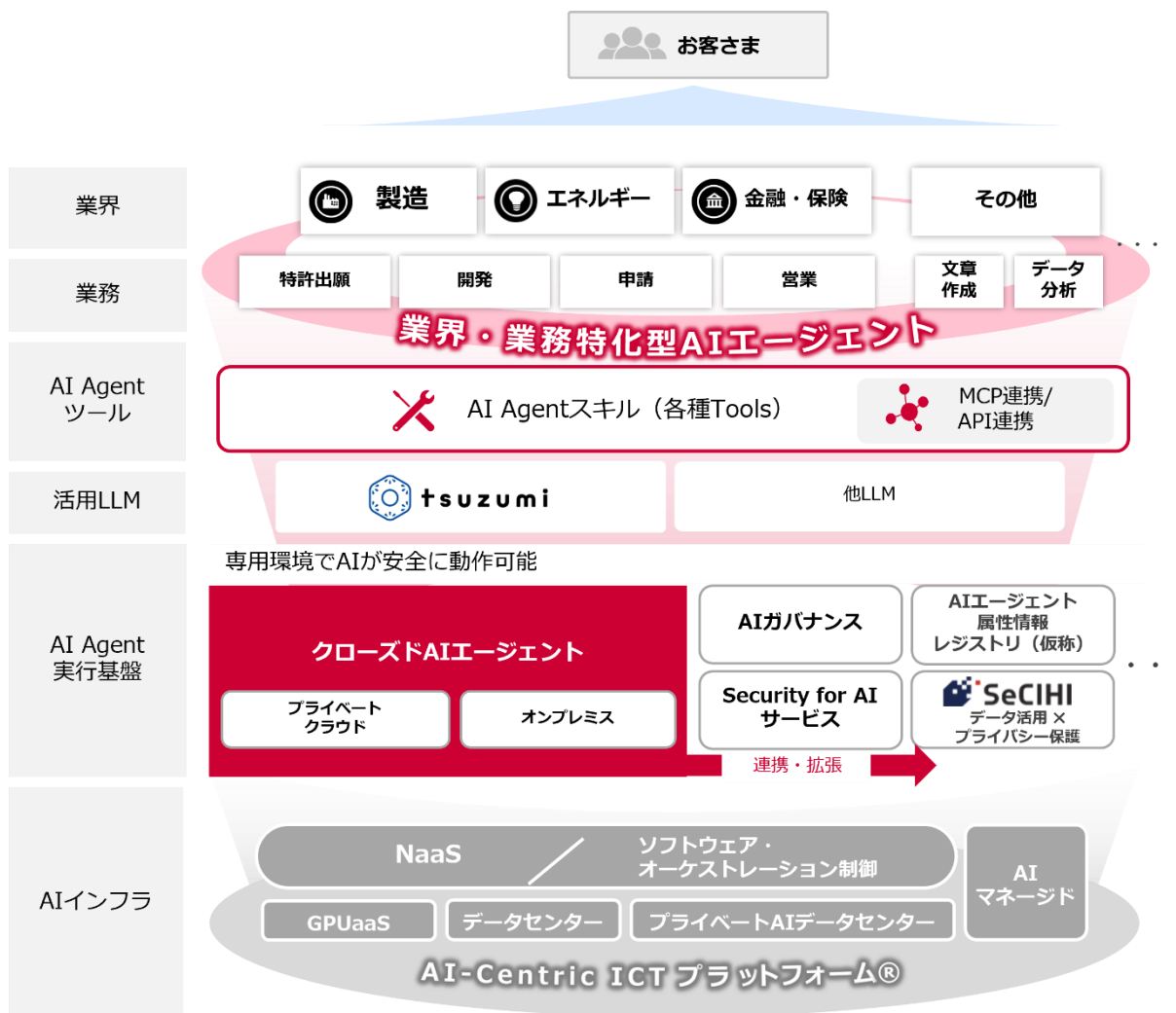
5. お申し込み方法

NTT ドコモビジネス営業担当までお問い合わせください。

6. 今後の展開

両社は、業界・業務特化型 AI エージェントのラインアップ拡充を進めるとともに、プロンプトインジェクション対策など AI エージェント特有の脅威への対応や、企業の AI 活用を統制するガバナンス機能の強化を推進します。

また、NTT ドコモビジネスは AI の安全性・信頼性の向上を目的として、AI セキュリティ、AI ガバナンス、データ主権の確保などに関する取り組みを強化しています。AI エージェントの信頼の基盤となる「AI エージェント属性情報レジストリ（仮称）※7」や、秘密計算技術を活用した「析秘 MPC※8」などの取り組みと連携しながら、企業が安心して AI を活用できる環境の構築を推進していきます。



<NTT ドコモビジネスの AI 活用環境の構成イメージ>

「NTT コミュニケーションズ株式会社」は 2025 年 7 月 1 日に社名を「NTT ドコモビジネス株式会社」に変更しました。私たちは、企業と地域が持続的に成長できる自律・分散・協調型社会を支える「産業・地域 DX のプラットフォーム」として、新たな価値を生み出し、豊かな社会の実現をめざします。

つながろう。驚きを。幸せを。



<https://www.ntt.com/about-us/nttdocomobusiness.html>

- ※1 : exaBase Studio とは、株式会社エクサウィザーズが提供する AI エージェント開発・運用プラットフォームです。
<https://exawizards.com/exabase/studio/>
- ※2 : AI-Centric ICT プラットフォーム[®]とは、企業が AI を活用して、生産性の抜本的改善、競争力強化やビジネスモデル変革を進める AI 時代に最適な次世代 ICT プラットフォームのことです。
<https://www.ntt.com/business/lp/aicentricictpf.html>
- ※3 : Kubernetes アーキテクチャとは、コンテナ化されたアプリケーションの配置、運用、スケーリングを自動化するオープンソースのコンテナオーケストレーション技術です。
- ※4 : NTT ドコモビジネスが提供する業界・業務特化型 AI エージェントとは、特定の業界や業務における知識や業務プロセスを活用し、業務の高度化や効率化を支援する AI エージェントです。
<https://www.ntt.com/about-us/press-releases/news/article/2025/0619.html>
- ※5 : ソブリン AI とは、AI モデルやデータ、データや AI 基盤を国内または自社の管理下で運用し、データ主権や技術主権を確保する考え方です。
- ※6 : tsuzumi[®]とは NTT 株式会社の登録商標。tsuzumi の次世代モデル「tsuzumi2」は、日本語に強みを持つ純国産の大規模言語モデルとして開発されています。
https://www.rd.ntt/research/LLM_tsuzumi.html
- ※7 : AI エージェント属性情報レジストリ（仮称）とは、AI エージェントの提供者や機能、権限などの属性情報を管理し、AI エージェントの信頼性向上を目的とした基盤です。
<https://www.ntt.com/about-us/press-releases/news/article/2026/0512.html>
- ※8 : 析秘 MPC とは、秘密計算技術を活用し、データを秘匿したまま分析や AI 活用を可能にする分析クラウドサービスです。
<https://www.ntt.com/about-us/press-releases/news/article/2026/0624.html>